

文部科学省 共同利用・共同研究拠点

立命館大学アート・リサーチセンター 日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点
2014年度 共同研究成果報告書

2015年 4月 30日 提出

1. 研究課題名	
演劇上演記録のデータ・ベース化と活用、ならびに汎用利用システム構築に関する研究 (英文標記: _____)	
2. 研究代表者	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
武藤 祥子(むとう さちこ)	公益財団法人 松竹大谷図書館
3. 研究分担者 (合計: 4 名) ※アート・リサーチセンター所属者は、「ARC 所属教員欄」に○印を付してください	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
井川繭子(いがわまゆこ)	松竹大谷図書館
村島彩加(むらしまあやか)	日本学術振興会・PD
倉橋正恵(くらはしまさえ)	立命館大学衣笠研究機構客員研究員
青山いずみ(あおやまいずみ)	立命館大学文学研究科 博士前期課程 M1

4. 研究課題の概要(300字程度) (申請書から変更がある場合は、変更点が分かるように明記してください)
<p>松竹大谷図書館は、開館以来、演劇史や演劇資料整理の基礎となる演劇上演記録を作成してきた。この上演記録は、主に明治初年から戦前までの東京の記録と、戦後の各地の大劇場、及び東京の小劇場の記録である。これらの上演記録は、元々図書カードによって整理されていたもので、これを完全にデータベースに移行しつつ、不完全な情報については、資料の原典に当たるなど精緻化、考証を進めてデータの精度を上げ、日本演劇の研究と資料整理の基礎となる上演記録データベースを構築する。</p>
5. 研究成果の概要 (この項は、本センターのホームページ・紀要等で公開することがあります)
<p>2014年度研究では、今まで続けてきた劇場ごとの演劇上演記録の考証作業を継続して行うことができた。本年度はそれに加えて、ジャンルを「新派」に限定して戦後の上演記録の作成と考証作業を行った。「新派」は明治期に旧来の歌舞伎などの演劇に対して、新しく発生した演劇のジャンルだが、戦前戦後を経て、現在でも劇団新派として公演を行っている。</p> <p>現在の新派公演は松竹株式会社が生産しており、そのため歴代の演劇部新派担当プロデューサーや、新派の演出家が公演記録を書き留めていた冊子が存在する。今回の考証作業では、当館が記録してきた上演カードの記録をベースとした上で、それらの冊子を重要な典拠資料としてデータベース化できた。</p> <p>またこの作業では、冊子をスキャンして画像化し、その画像を新派担当プロデューサーにも提供した。新派上演データベースが完成すれば、今後の新派公演製作業務に活用できる有益なデータベースとなるであろう。</p>

また考証作業は、今年度より演劇の専門知識を持った新たな人材を得て入力作業が行われた。考証作業が進むにつれ、入力ペースや考証の精度も上がり、上演記録の考証方法を会得した人材の育成にもつながったといえる。

さらに、別予算で進めている芝居番付のデジタル化がアート・リサーチセンターとのコラボレーションで進行中であり、2014年度中に約6,000点の内、2,500点の画像化が完了する予定である。

6. 研究業績

(1) 著書

1. 公演プログラム(歌舞伎座、新橋演舞場、明治座、南座、大阪松竹座、御園座、博多座)／共同／2014年4月1日以降発行の各月(但し歌舞伎本公演に限る)／巻末掲載上演年表
2. 『十八代目中村勘三郎 芸の軌跡 出演年表』／共同／2014年12月1日／演劇出版社／『演劇界』2014年12月号別冊付録 18p-57p
3. 『演劇界』2015年5月号「追悼十代目坂東三津五郎」／共同／2015年4月5日／演劇出版社／「芸の軌跡 昭和31年～平成26年出演年表」51p-60p

(2) 論文

(3) 研究発表等

(4) 主催したシンポジウム・研究会等

(5) その他研究活動(報道発表や講演会等)

(6) 受賞学術賞

(7) 科学研究費助成事業

(8) 競争的資金等(科研費を除く)

(9) その他